

海老名市教育委員会

(平成30年 6月 定例会議事日程)

日時 平成30年 6月22日(金)

午後 3時30分

場所 えびなこどもセンター 301会議室

教育長報告

日程第 1 報告第 9号 海老名市教育委員会関係職員の人事異動について

日程第 2 報告第 10号 平成30年度教育委員会非常勤特別職の委嘱等について

日程第 3 議案第 16号 海老名市立図書館指定管理者制度による運営の継続に係る基本方針について

海老名市教育委員会
平成30年 6月定例会



◇教育長報告

1 主な事業報告

- 5月23日(水) 教育委員会5月定例会
週部会
教育支援センター運営協議会
- 24日(木) 静岡県島田市教育委員会訪問
- 25日(金) 関東甲信越静教育長連合会総会
- 26日(土) 小学校運動会
海老名小、有鹿小、大谷小、東柏ヶ谷小
杉久保小、杉本小
- 28日(月) あそびっ子クラブ研修会
県都市教育長会議総会
- 29日(火) 大塚元校長叙勲市長報告
人権教室(海西中)
海老名市三師会総会
- 30日(水) 週部会
6月校長会議
- 31日(木) 市議会第2回定例会本会議(開会)
一般質問部内打合せ
- 6月 1日(火) 朝のあいさつ運動(大谷小)
辞令交付
西口安全安心ステーション開所式
海老名小児童会トンガ寄付に係る面談
- 2日(土) ナイトウォークラリー試走あいさつ
単P会長会

- 4日(月) 杉久保小タブレット朝会
辞令交付
学校応援団連絡会
一般質問市長ヒアリング
- 5日(火) 学校ICT活用推進協議会
- 6日(水) 週部会
奨学生選考委員会
中学校校長会米飯給食試行説明会
- 7日(木) 文教社会常任委員会
教職員互助会ボーリング大会
- 8日(金) 柏ヶ谷中タブレット朝会
門沢橋小学校運営協議会
6月臨時教育委員会
社会教育委員会議
- 9日(土) 扇町虹の子学童開所式
- 11日(月) 台風5号対応(通常どおり)
海老名警察署管内学校警察連絡協議会総会
- 12日(火) 市議会第2回定例会一般質問(第1日目)
- 13日(水) 市議会第2回定例会一般質問(第2日目)
- 14日(木) 東柏ヶ谷小タブレット朝会
6月教頭会議
- 15日(金) 市議会第2回定例会本会議(閉会)
今泉小校内研究授業参観(英語)
私たちの海老名編集委員会
- 16日(土) PTA指導者研修会
教育委員と語る会(単P会長会)
- 18日(月) 中新田小タブレット朝会
特学親の会
教育課題研究会
外国語教育推進協議会
えびなっ子しあわせ懇談会



- 19日(火) 有馬中タブレット朝会
寺子屋キャンプ実行委員会面談
大和税務署来館
新たな学校体制づくり推進委員会
- 20日(水) 週部会
柏ヶ谷小学校運営協議会
上星小校内研究授業参観(英語)
- 21日(木) 社会教育委員会議
海老名駅児童殺傷予告対応
湘北教職員組合来館
学校施設緊急会対応報告
- 22日(金) 小学校連合運動会
教育委員会6月定例会
部活動指導者研修会

- 2 平成30年海老名市議会第2回定例会一般質問・教育部所管部分の
質問・答弁について
※別添資料
教育部長が説明します。

以上でございます。

※添付資料 平成30年度「いがすたいがすた」第2号



いがすたいがすた

教育長だより 第 2 号

H30.5.29 伊藤 文康

新学期から2カ月、目の前の子どもたちの様子はいかがでしょう。
みなさんの調子はいかがでしょう。

先週の土曜日に、小学校6校の運動会がありました。

駆け足で午前中に6校の様子を見させていただき、午後は、海老名小学校の6年生の演技を見ました。

運動会の私の楽しみは、子どもたちの元気な姿とみなさんの運動会を成功させようと協力して働く姿です。

特に、私が感激するのは、子どもたちとみなさんの達成感が重なって、ともに喜び合っている光景です。

そういう意味で、たくさん心動かされたことがうれしい一日でした。

お疲れさまでした。ありがとうございます。

次は、秋の中学校体育祭、小学校7校の運動会を楽しみにしています。

このまま夏になるのではと思えるほど暑い日が多かった5月ですが、季節は、これから梅雨をむかえます。寒暖の差が激しくなります。体調管理に、充分に気をつけてください。そして、子どもたちのためにも、ご自身のためにも、ご家族のためにも、健康第一で過ごしてほしいものです。

『見えるものが本当？』

最近、ふと考えるのが、宇宙から送られてくる地球の映像は、青白く美しい星なのですが、海の汚染が広がり、森林破壊が進んでいるということ。南部の学校から見る富士山は秀麗な姿ですが、不法投棄でゴミの山と言われているということ。

どうも、見えるものが本当だとは限らなのではないかということです。

さて、5月になり、子どもたちは、4月の緊張が解けて、ひとりひとり、さまざまな表情をみなさんに見せていることでしょう。

子どもたちは、素直で、その表情は、見えるのものが本当なことが多いように思えるのですが、中には、その場やその時々によって、そうでないこともあるように思えるのです。

特に、問題と思われる行動をとる子どもの場合は、それは行動として表面化された一面であり、本当のことは、見えないものを探ることによって、その行動の本当の要因や意図がわかったりもします。

みなさんは、子どもたちと対峙することが仕事ですから、「見えるものが本当？」か、常に、注意深く見守ることを大切にしてほしいと思うのです。



平成 30 年第 2 回定例会一般質問・教育部所管部分の質問・答弁

●氏家康太議員

【下校時の児童生徒の安全確保について】

- 昨年 7 月と 9 月の総合教育会議でも、児童生徒の登下校の安全について、市長と話してきた。
- 学校での防犯啓発活動としては、防犯ブザーの貸与や、日常的な下校指導、警察と連携した防犯教室の開催など。
- 下校時の連れ去り防止対策としては、青パトによる通学路安全パトロール、防犯カメラの設置や、安全監視員・立哨員の配置などを実施している。
- 今後も、子ども自身の防犯力向上や防犯体制の充実に取り組み、子どもたちの安全確保を図っていく。
- 庁内関係課、警察も構成員とした「通学路安全対策委員会」でも、学校からの要望に対する対策の実施について、その都度検討している。
- 不審者情報の収集・提供のあり方については、考え方を整理して、庁内関係各課とも連携しながら研究していきたい。

●山口良樹議員

【市立図書館の指定管理者更新について】（基本協定書・業務仕様書を遵守しているか）

- 中央図書館のリニューアルオープン当初はいくつかの指摘をいただいたが、その都度速やかな改善を図っている。
- 基本協定書及び業務仕様書は遵守されており、また、大きな成果を上げており、かつ進化していると認識している。

●永井浩介議員

【道徳教育について】（現状と課題）

- 小学校は平成 30 年度から、中学校は 31 年度から教科化される。名称は「特別の教科 道徳」。
- 指導方法については、「考え、議論する道徳」が求められており、友だちと議論しながら自己を見つめ、さまざまな視点から物事をとらえることで、道徳的な判断力・心情・実践意欲等を伸ばしていく。
- 小学校では、「考え、議論する道徳」「自分のこととしてとらえる道徳」の実現のため、授業内容の工夫を図っているが、「教科化に伴う評価のあり方」が課題となっている。
- 一人一人がいかに成長したかを受け止め、それを文章にする記述式の評

価であるため、教員の児童を理解する力や児童の考えを引き出す力が求められている。

- 中学校では、準備段階として、各校で研究を進めるとともに、8月に小中の教員全員を対象とした研修を行い、意識改革を図っていく。
- 課題としては、学習の中に、さまざまな視点から学び合う「問題解決的な学習」を積極的に取り入れ、道徳科の特質を生かした授業改善を図っていくことが挙げられる。

●久保田英賢議員

【学用品等経費負担のあり方について】

- 昨年「保護者負担経費検討委員会」を立ち上げ、今年9月を目途に軽減策のまとめを行う予定。
- 5月の第6回では、制服、ジャージ等の方向性の確認と併せ、修学旅行の負担軽減についても議論した。
- 軽減策としては、
 - ①制服 ⇒ 各校の仕様書を作成し、業者に広く周知することで、取扱店・販売店の拡大を図り、併せて市のホームページに各校の制服の販売店・価格等を公開することで、入学以前から保護者が情報を入手できるようにする。

②ジャージ・上履き(兼体育館履き) ⇒ 各校で選定委員会を立ち上げ、ジャージ等の仕様書を作成した上でコンペを行うことで負担軽減を図る。

③運動用Tシャツ、短パン、ワイシャツ、ポロシャツ等 ⇒ 各校で仕様を定めた上で、本人・保護者が自由に選択できるよう、平成 31 年度から全中学校で実施できる方向で検討する。

という方向でまとめの段階に入っている。

- 各校で立ち上げる選定委員会の構成メンバーは、教員のほか、保護者・PTA等を想定。ここでの結論を踏まえて、学校長が判断することになる。
- 制服のリサイクルについては、学校やPTAの意見を踏まえ、先進事例を参考に研究していきたい。

【障がい児・者に対する支援について】（学校訪問相談員制度の変更）

- 今年度から、体制を変更し、教育支援センター相談員の 6 名が、市内 13 の小学校を分担して訪問し、相談支援を行っている。
- これにより、「教育支援センターとの情報共有・連携が円滑になり、各種の支援事業と連動もスムーズになった」など、概ね肯定的に受け入れられているが、派遣日、時間の調整を図ってほしい等の要望も受けている。
- 今後も、各校と調整を図りながら、よりよい運用・活用を進めていく。

●西田ひろみ議員

【「まなびっ子クラブ事業」設置目的と成果と課題について】

- 「まなびっ子クラブ」は、海老名市社会教育計画に基づき、放課後の学習環境を提供することによって、子どもたちの学習習慣の定着を図ることを目的として実施。
- 課題としては、開催日数や参加児童数が挙げられる。このため、児童と保護者にお知らせを配付してPRに努めているほか、校長会や教頭会において、空き教室の確保や開催日数の相談、担任から児童への声かけ等の依頼をしている。

●佐々木弘議員

【市立図書館のあり方について】

- 指定管理者制度を導入したことにより、魅力的でサービス向上が図られた図書館となり、利用する市民も増え、好評をいただいている。今後も指定管理者制度を継続し、利便性とサービスの向上を図っていく。

●志野誠也議員

【学習指導要領改訂に伴う「主体的・対話的で深い学び」に向けた取り組みについて】

- 「第 2 期えびなっ子しあわせプラン」では、授業改善を重点の一つとして、授業のあり方を海老名市の教職員全員で研究したいと考えている。
- アクティブラーニングの視点からの授業改善へは、学習指導要領改訂に向けた国の話し合いに基づいて、平成 26 年度から各校における校内研究や市の研修会等で取り組んできた。
- 指導主事による学校訪問においても、子どもたちの能動的な学びに向けて、教職員と授業の工夫・改善について協議してきた。
- 今後は、「授業展開 20 のポイント」の手引書を活用して、授業改善を図っていきたい。
- 今年度から「授業改善実践推進委員会」を立ち上げ、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、授業改善に向けた実践を進めていく。

【子どもたちの登下校における安全対策について】

- 教育委員会では、各校の「防犯教室」、青パトによる通学路安全パトロール、防犯カメラ 38 台の設置、安全監視員や立哨員の配置などを実施。
- 青パトは、小学校の下校時刻に合わせて、北部・南部に分かれて毎日 2 台で巡回している。

- 通学路の安全に関しては、庁内の他の部署や関係機関との横断的組織として「通学路安全対策委員会」を設置し、現地の合同点検などを行いながら、防犯・交通安全対策を協議・検討している。

●吉田みな子議員

【市立図書館について】

◆指定管理者の選定等について

- 平成 31 年度からの 5 年間を指定管理期間として公募するため、準備している。募集要項や仕様書は、これまでの成果と課題を踏まえて整理していく。指定管理料についても、実績額を踏まえ、物価や人件費の上昇なども加味して精査していく。

◆有馬図書館の運営等について

- 有馬図書館の運営等については、門沢橋コミセンの持つコミュニティ機能と図書館機能をさらに高めて融合し、新たな公共施設として市民サービスの向上につながる複合施設としていく。
- 夏ごろから募集・選考し、12 月定例会を目途に指定の上程を行いたい。

●相原志穂議員

【学校での心肺蘇生や AED に関する教育や普及について】

- 昨年度から海老名市防災学習テキストによる防災教育を実施しており、その中でAEDに関する学習も行う。
- 小学校 6 年生で、AEDが何のためにあるか、どんなところに置いてあるかを学習。中学校では、2 年生全員が胸部圧迫法及びAED実習を行う。
- 教職員向けには、毎年、消防職員を講師として心肺蘇生法研修を実施。家庭教育学級の講座として行うケースやえびなっ子スクールで操作体験を行った例もある。
- 環境面として、校舎の外に設置して、部活動や休日の開放でも使えるようにしている。
- 今後も、自分の命を大切にする気持ちや、周りの人たちの命を助ける「共助」の気持ちを育てていく。

報告第9号

海老名市教育委員会関係職員の人事異動について

海老名市教育委員会関係職員の人事異動について、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教委規則第2号）第3条第1項の規定により臨時に代理し発令したので、同条第2項の規定により報告する。

平成30年6月22日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤文康

報告理由

平成30年6月1日付で人事異動を発令したため

教育委員会関係職員人事異動内訳

平成30年6月1日付け

【再任用職員】

次長・参事級 1名

【任期付職員】

主事補級 1名

2名

平成30年6月1日付け

氏名	新所属	旧所属	備考
【再任用職員：次長・参事級】			
やなぎた のぶひで 柳田 信英	市長室参事（文書法制担当） （併）教育部参事（図書館担当）	市長室参事（文書法制担当）	兼務発令

【任期付職員：主事補級】			
みやだい えいじ 宮台 英治	教育総務課主事補	教育総務課主事補	H32.3.31まで任期更新

報告第10号

平成30年度教育委員会非常勤特別職の委嘱等について

平成30年度教育委員会非常勤特別職の委嘱等について、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教委規則第2号）第3条第1項の規定により臨時に代理し発令したので、同条第2項の規定により報告する。

平成30年6月22日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤文康

報告理由

新規委嘱及び辞職又は任期満了に伴う後任として、新たに非常勤特別職を委嘱したため

非常勤特別職(学校安全監視員)の委嘱について

1 学校安全監視員の変更について

門沢橋小学校の高橋政二氏が5月31日をもって辞職したことにより、新たに小泉鷹雄氏に委嘱する。

2 委嘱期間について

平成30年6月1日から平成31年3月31日まで

3 提案理由

前任者の辞職による新規委嘱

4 新旧委嘱者

【新】

氏名	年齢	委嘱等内容	備考
小泉 鷹雄	71	新規	門沢橋小学校

【旧】

氏名	年齢	委嘱等内容	備考
高橋 政二	71	辞職	門沢橋小学校

5 名簿

別紙のとおり

海老名市非常勤特別職（業務嘱託員（三））名簿

学校安全監視員

任 期：平成30年4月1日～平成31年3月31日

平成30年6月1日

勤務校	氏名	ふりがな	採用日等
海老名小学校	川田 明	かわた あきら	H25.4.5
	青山 正昭	あおやま まさあき	H30.4.1
	持田 外余武	もちだ とよたけ	H30.4.1
柏ヶ谷小学校	森 博志	もり ひろし	H26.4.1
	荒島 良則	あらしま よしのり	H28.4.1
	千葉 陽一郎	ちば よういちろう	H28.4.1
有鹿小学校	木村 好夫	きむら よしお	H23.5.13
	内山 功	うちやま いさお	H26.6.17
	梅津 一彦	うめづ かずひこ	H28.4.1
有馬小学校	城所 重男	きどころ しげお	H28.4.1
	浅井 与四郎	あさい よしろう	H29.4.1
	浅野 勝	あさの まさる	H30.4.1
大谷小学校	石河 進	いしこ すすむ	H24.6.1
	山崎 敏	やまざき さとし	H24.11.1
	小林 秀一	こばやし ひでかず	H26.6.1
上星小学校	吉見 庄次	よしみ しょうじ	H22.4.1
	加藤 明宏	かとう あきひろ	H23.11.28
	岩本 知二	いわもと ともじ	H28.9.1
中新田小学校	橋本 浩一郎	はしもと こういちろう	H20.6.1
	横道 良三	よこみち りょうぞう	H26.4.1
	内山 繁	うちやま しげる	H30.4.1
門沢橋小学校	鶴田 智也	つるた ともや	H29.10.10
	小泉 鷹雄	こいずみ たかお	H30.6.1
	今道 武吉	いまみち たけよし	H30.4.1
東柏ヶ谷小学校	枝田 信二	えだ しんじ	H25.5.16
	橋本 堅次	はしもと けんじ	H28.4.1
	黒羽 幸男	くろば ゆきお	H28.9.1
社家小学校	千坂 嘉昭	ちさか よしあき	H26.6.1
	壁 正雄	へき まさお	H28.4.1
	間宮 明	まみや あきら	H28.11.1
杉久保小学校	山室 修次	やまむろ しゅうじ	H23.4.1
	高島 勲	たかばた いさお	H25.12.1
	伊藤 明	いとう あきら	H30.1.9
今泉小学校	山口 隆之	やまぐち たかゆき	H23.2.1
	阿部 敏雄	あべ としお	H26.6.20
	猪股 弘	いのまた ひろし	H24.1.16
杉本小学校	岡本 一二三	おかもと ひふみ	H25.4.16
	西田 克也	にしだ かつや	H26.1.14
	塩澤 達夫	しおざわ たつお	H26.4.1

新規委嘱
(前任者の辞
職による)

非常勤特別職(柏ヶ谷小学校学校運営協議会委員)の委嘱について

- 1 学校運営協議会委員について
学校運営への必要な支援及び協力を行う。
- 2 委嘱期間について
平成30年6月1日から平成32年5月31日まで
- 3 提案理由
新規委嘱
- 4 委嘱者

【新】

氏名	委嘱等内容	備考
やまざき ひさお 山崎 久夫	新規	学識経験者
あきしま ゆうこ 秋島 優子	新規	学識経験者
くまがい かつよし 熊谷 勝義	新規	地域住民
おぼた しんじ 小幡 信司	新規	学校運営に資する活動を行う者
おおぬき せつこ 大貫 節子	新規	地域住民
しぶや のぼる 渋谷 昇	新規	学校運営に資する活動を行う者
おおぬき ひろし 大貫 寛	新規	地域住民
たかぎ やすみ 高木 保己	新規	地域住民
こまつ ただし 小松 忠	新規	地域住民
よしだ しげお 吉田 茂男	新規	地域住民
さいとう ゆうこ 齊藤 裕子	新規	学校運営に資する活動を行う者
しむら まさのり 志村 政憲	新規	保護者
おおくぼ まゆみ 大久保 真由美	新規	保護者
やまだ すぐる 山田 優	新規	教職員
はたけやま みちこ 畠山 倫子	新規	教職員(教務)
さかの ちゆき 坂野 千幸	新規	教頭
うめざき れいこ 梅崎 玲子	新規	校長

非常勤特別職(有馬小学校学校運営協議会委員)の委嘱について

- 1 学校運営協議会委員について
学校運営への必要な支援及び協力を行う。
- 2 委嘱期間について
平成30年6月1日から平成32年5月31日まで
- 3 提案理由
新規委嘱
- 4 委嘱者

【新】

氏 名	委嘱等内容	備 考
いしかわ えいち 石川 榮一	新規	地域住民
ふるごおり むねまさ 古郡 宗正	新規	学識経験者
やまぐち しんじ 山口 慎二	新規	地域住民
ふたみ たかえ 二見 隆江	新規	地域住民
すずの トミ 鈴野 トミ	新規	地域住民
みやだい すず え 宮台 寿鶴栄	新規	学校運営に資する活動を行う者
こまつ あきら 小松 明	新規	保護者
むらまつ かおり 村松 かおり	新規	校長
ふじわら ゆきたか 富士原 幸隆	新規	教頭

非常勤特別職(門沢橋小学校学校運営協議会委員)の委嘱について

- 1 学校運営協議会委員について
学校運営への必要な支援及び協力を行う。
- 2 委嘱期間について
平成30年6月1日から平成32年5月31日まで
- 3 提案理由
新規委嘱
- 4 委嘱者

【新】

氏名	委嘱等内容	備考
あおき そういち 青木 荘一	新規	地域住民
いちかわ かずひこ 市川 一彦	新規	地域住民
おおしま ちか 大島 千佳	新規	学校運営に資する活動を行う者
よねやま めぐみ 米山 恵	新規	学識経験者
うしむら ただお 牛村 忠雄	新規	学識経験者
やまかわ いさむ 山川 勇	新規	学識経験者 (学区中学校教頭)
あべ ゆりこ 阿部 百合子	新規	保護者
なるおか せいじ 成岡 誠司	新規	校長
むろや まゆみ 室矢 真弓	新規	教頭

非常勤特別職(杉久保小学校学校運営協議会委員)の委嘱について

- 1 学校運営協議会委員について
学校運営への必要な支援及び協力を行う。
- 2 委嘱期間について
平成30年6月1日から平成32年5月31日まで
- 3 提案理由
新規委嘱
- 4 委嘱者

【新】

氏名	委嘱等内容	備考
いとう けんぞう 伊藤 健三	新規	学識経験者
やまむら しゅうじ 山室 修次	新規	学識経験者
えのきだ きたむ 榎田 成	新規	保護者
おおつか まさき 大塚 真樹	新規	保護者
うたがわ こうたろう 雅楽川 光太郎	新規	保護者
まえだ まさはる 前田 正晴	新規	地域住民
いわさき さよこ 岩崎 佐容子	新規	学校運営に資する活動を行う者
かねこ ゆみこ 金子 由美子	新規	地域住民
たてわき ひろと 立脇 寛人	新規	校長
ふくだ ゆうこ 福田 裕子	新規	教頭
ふるはた ひし 古畑 恒	新規	教職員代表

非常勤特別職(大谷中学校学校運営協議会委員)の委嘱について

- 1 学校運営協議会委員について
学校運営への必要な支援及び協力を行う。
- 2 委嘱期間について
平成30年6月1日から平成32年5月31日まで
- 3 提案理由
新規委嘱
- 4 委嘱者

【新】

氏 名	委嘱等内容	備 考
くまざわ み え こ 熊澤 美恵子	新規	学識経験者
そのぐち み さ こ 藺口 美佐子	新規	地域住民
えんどう とし え 遠藤 俊江	新規	学校運営に資する活動を行う者
いわさき さ よ こ 岩崎 佐容子	新規	地域住民
よしだ あきら 吉田 存	新規	保護者
よしだ まもる 吉田 守	新規	学識経験者
ながひさ えい こ 長久 栄子	新規	保護者
はしもと まさお 橋本 正夫	新規	校長
はるやま しげき 春山 茂樹	新規	教頭

平成30年度 海老名市社会教育委員名簿

任期：平成30年6月1日～平成31年5月31日

No.	氏名	区分	備考
1	ウエマツ ケイコ 植松 慶子	学識経験者	継続
2	シムラ マサノリ 志村 政憲	家庭教育関係者	新規
3	クリヤマ アキオ 栗山 明郎	学識経験者	継続
4	ヨネヤマ ミル 米山 稔	学校教育関係者	新規
5	サンベ マサヨ 三部 雅世	社会教育関係者	継続
6	シオジ ヒトミ 塩地 ひとみ	学識経験者	継続
7	コオリヤマ ツシ 郡山 強	学校教育関係者	新規
8	マエノ カゾウ 前野 佳三	社会教育関係者	継続
9	モリタ ヒサン 森田 壽	社会教育関係者	継続
10	ヤマダ ノブエ 山田 信江	社会教育関係者	継続

議案第16号

海老名市立図書館指定管理者制度による運営の継続に係る基本方針について

別紙のとおり、海老名市立図書館指定管理者制度による運営の継続に係る基本方針について、議決を求める。

平成30年6月22日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤文康

提案理由

図書館指定管理者の募集にあたり、海老名市立図書館指定管理者制度による運営の継続に係る基本方針を定めるため

海老名市立図書館指定管理者制度継続に係る基本方針

基本方針

ひろがる・つながる・みんなの図書館 ～「学び」と「コミュニティ」の拠点へ～

海老名市立図書館は、平成26年度から、「情報拠点施設」「生涯学習拠点施設」「新たな付加価値提供施設」を目指し、指定管理者制度による管理運営を進めてきました。

その結果、様々な魅力あるサービスが提供され、利用者数や貸出者数・貸出冊数も増加するとともに、利用者からは高い評価をいただいています。

また、図書司書の派遣により、学校図書館の貸出冊数が大幅に増加するなど、大きな効果が認められています。

海老名市立図書館の指定管理者制度継続にあたっては、これまでの成果等を踏まえ、基本方針を『ひろがる・つながる・みんなの図書館～「学び」と「コミュニティ」の拠点へ～』として、一層の市民サービス向上を図ってまいります。

○全体（「一体性」と「独自性」）

中央図書館と有馬図書館の両館は、海老名市立図書館としての「一体性」を維持しつつも、中央図書館は、開発の進む海老名駅直近の「利便性の高い図書館」として、有馬図書館は、田園風景の残る市南部に位置し、門沢橋コミュニティセンターとの「複合施設」として、地域の特性やその役割を十分に踏まえ、選書や自主事業等、独自性を持った、更なる「学び」と「コミュニティ」の拠点へと進化してまいります。

○中央図書館

中央図書館は、充実した施設と設備を活用し、先進的なサービスや付加価値を提供するとともに、多種多様な情報を集積し、子どもから高齢者まで誰もが快適に学び、滞在できる空間を創出することで、様々な人々が「集い」、「語らい」、そして「学び」の拠点として更なる進化を図ります。

○有馬図書館

有馬図書館は、学校図書館との連携拠点として、また、市民図書室等の中心として、広く市民への学び支援や図書館ネットワークの構築を目指します。

また、門沢橋コミュニティセンターとの複合施設として、地域コミュニティの醸成を図るとともに、新たな公共施設として、図書を通じた子育て支援等、更なるサービスを提供してまいります。

海老名市立図書館 指定管理者制度継続に向けて

平成30年6月22日
海老名市教育委員会

1. 指定管理者導入の成果(サービス)

○全体：これまでにない様々なサービスの提供

- ①自主事業の充実
- ②ICタグ導入による自動貸出機設置
- ③宅配サービスの開始

○中央：既存図書館の枠にとらわれず、付加価値の提供と利用者サービスの向上

- ①開館日時の拡大
- ②カフェ・書店の併設
- ③キッズ・ライブラリーの設置

○有馬：地域性を活かした自主事業、サービスの提供

- ①開館時間の拡大
- ②学校図書館の支援拠点設置



1. 指定管理者導入の成果(利用者推移)

中央図書館

	来館者	貸出者	貸出冊数
25年度		140,291	468,721
26年度	275,419	108,781	344,920
27年度	336,686	122,007	337,921
28年度	705,824	240,777	657,640
29年度	723,431	241,214	670,285

25年度と29年度比較
貸出者数約1.72倍
貸出冊数約1.43倍

有馬図書館

	来館者	貸出者	貸出冊数
25年度		26,037	107,784
26年度	107,456	42,978	169,396
27年度	122,727	55,463	215,621
28年度	108,148	31,930	126,674
29年度	107,700	32,400	124,657

25年度と29年度比較
貸出者数約1.24倍
貸出冊数約1.16倍

1. 指定管理者導入の成果(学校図書館)

小中学校19校(学校図書館)への司書派遣

- ① 図書室環境の整備
- ② 図書展示・広報活動・図書だより充実
- ③ 読書相談・読み聞かせなどの読書支援
- ④ 教員との連携による授業支援、資料収集

貸出冊数

	小学校	中学校
25年度	73,109	865
26年度	95,828	3,493
27年度	102,681	7,584
28年度	108,737	8,999
29年度	124,402	9,890

25年度と29年度比較
小学校全校比約1.7倍
中学校全校比約11.4倍

1. 指定管理者導入の成果(アンケート評価)

中央図書館

- 館内が綺麗で居心地がよい、蔵書も多く満足
- 21時まで開館されている図書館はあまりない。
- 年中無休がよい
- 授乳やおむつ替えスペースが充実していて助かる。
- 小さい子どもでも図書館に通いやすい、専用フロアで周囲の目も気にならない。
- 新刊書の購入が少ないのか、新刊書はかなり待たないと借りられない。
- 座席数を増やしてほしい。

大いに満足・満足
78.2%

有馬図書館

- スタッフが丁寧で質問にきちんと答えてくれる。
- 本を探しやすく、静かで気持ちよい
- 19時までになって利用しやすくなった。
- 中央と比べ規模が小さいが書物が豊富、センスのよい本が選別されており、穴場。但し、閲覧スペースが少ない。

大いに満足・満足
77.1%

2. 指定管理者導入の課題と対応

①検索機が分かりにくい(共通)

⇒文字サイズの修正、シート記載内容の改善、マニュアル掲示、検索機の使い方講座開催

②選書方法が不明(共通)

⇒司書4名で選書委員会を設け、統括館長と両館長が選定。選定したリストを教育委員会に報告

③配架が分かりにくい(中央)

⇒配架誤り修正、フロア案内図・床に案内サイン・50音順仕切り設置

④自動車文庫の代替サービス(共通)

⇒宅配サービス(障がい者無料宅配サービス)・コンビニ返却開始

⑤雑誌タイトルの増(中央)

⇒54タイトルを67タイトルに増

⑥非常に備え、避難訓練を行うべき(共通)

⇒市民参加型の避難訓練を実施

⑦4階授乳室への授乳量計設置(中央)

⇒設置済み

3. 指定管理者制度「継続」決定

○海老名市社会教育委員会議

第2回 平成29年11月10日(金)

第3回 平成29年11月28日(火)

第4回 平成29年12月22日(金)

⇒海老名市立図書館は次期も指定管理者制度を継続することが望ましい。

○海老名市教育委員会

1月定例会 平成30年1月19日(金)

「議案第3号 海老名市立図書館指定管理者制度の継続について」

⇒可決



4. 海老名市立図書館の方向性

(基本方針)

ひろがる・つながる・みんなの図書館

～「学び」と「コミュニティ」の拠点へ～

○「一体性」と「独自性」(全体)

中央図書館と有馬図書館の両館は、海老名市立図書館としての「一体性」を維持しつつも、中央は、開発の進む海老名駅直近の「利便性の高い図書館」として、有馬は、田園風景の残る市南部に位置し、門沢橋コミュニティセンターとの「複合施設」として、地域の特性やその役割を十分に踏まえ、選書や自主事業等、独自性を持った、更なる「**学び**」と「**コミュニティ**」の**拠点へ**と進化してまいります。

4. 海老名市立図書館の方向性

○「中央図書館」

中央図書館は、充実した施設と設備を活用し、先進的なサービスや付加価値を提供するとともに、多種多様な情報を集積し、子どもから高齢者まで誰もが快適に学び、滞在できる空間を創出することで、様々な人々が「集い」、「語らい」、そして「**学び**」の拠点として、更なる進化を図ります。



4. 海老名市立図書館の方向性

○「有馬図書館」

有馬図書館は、学校図書館との連携拠点として、また、市民図書室等の中心として、広く市民の学び支援や図書館ネットワークの構築を目指します。

また、門沢橋コミュニティセンターとの複合施設として、**地域コミュニティの醸成**を図るとともに、新たな公共施設として、図書を通じた子育て支援等、更なるサービスを提供してまいります。



平成30年度第2回社会教育委員会議での意見

- 電子書籍の導入
- 座席数の増加
- 学校図書館への司書派遣の頻度を増やしてほしい。
- 有馬図書館と門沢橋コミュニティセンターの一体化は良いと思う。

(現在も有馬図書館が地域に根付いているため)
- 新刊を借りやすくしてはどうか。
- 大胆なアイデアを持った事業者に期待したい。
- 専門書をもっと置いてはどうか。
- 建物内で図書館とコミセンの区分けがわからないような、大胆な作りでも良いと思う。
- コミセンの有料化についてはどうなるのか？(図書館の利用は無料)